情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦　2025 年　3 月　28 日作成　　第 2.0 版

研究課題名	外来における急性気道感染症患者に対する抗菌薬の処方状況調査
研究の対象	2023 年 7 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に、横浜市立大学附属病院の外来を受診し、急性気道感染症（感冒、急性鼻副鼻腔炎、急性咽頭炎、急性気管支炎）と診断された患者さんを対象とします。
研究の目的	抗菌薬は不適切に使用すると、薬剤耐性菌という、薬が効かない細菌が増えるため、抗菌薬を適切に使用することが重要になります。中でも、急性気道感染症（感冒、急性鼻副鼻腔炎、急性咽頭炎、急性気管支炎）の原因の約 9 割はウイルスで、細菌が関与するものはごく一部であり、不必要に抗菌薬が処方されていることが多いと考えられています。日本の医療現場における抗菌薬の不適正使用の頻度・割合は明確になっておらず、当院においても同様に抗菌薬使用状況を十分に把握できていません。 そこで、当院外来で急性気道感染症と診断された患者さんへの抗菌薬使用状況を明らかにし、抗菌薬の適正使用推進に繋げることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、抗菌薬の使用状況について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年　10 月　17 日（研究機関の長の許可日）　～　西暦　2026 年　3 月　31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年　10 月　17 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1）患者基本情報：年齢、性別、体重、アレルギー、基礎疾患 2）診断名 3）抗菌薬、投与量、投与日数、処方診療科 4）血液検査：eGFR、Scr 5）細菌学的所見：A 群 β 溶血連鎖球菌迅速抗原検査の実施、培養検査の実施
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長でありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院　薬剤部　小山　実央、鈴木　智代
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する薬剤部の基礎研究費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院　薬剤部　（研究責任者）小山　実央、鈴木　智代

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9
横浜市立大学附属病院　薬剤部　（研究責任者・問い合わせ担当者）小山　実央、鈴木　智代
電話番号：045－787-2800（代表）　　FAX：045－787－2867